

「東京オリンピックに向けて、安全・安心のインフラづくり始めませんか」

2020年の東京オリンピック開催が決定しました。当然、多くの観光客が日本を訪れることが見込まれます。

そこで赤十字から新提案。2020年に向けて、観光客が安心して旅行できる安全・安心なインフラづくりを赤十字といっしょに目指してみませんか。

日本赤十字社では、けがや病気に対する正しい手当の知識と技術を「赤十字救急法」を通じて市民の皆様にお伝えしています。

今回は、「赤十字救急法」の中でも特に重要な手当といわれる「突然人が倒れた時の救命手当」にスポットをあて、「心肺蘇生」や「AED」の方法を赤十字といっしょに多くの市民に伝える CSR 活動をご用意しました。

参加方法は簡単。赤十字が平成24年に公開し、年間7万人に見られている「救命手当の動画（15分）」をみなさまの企業・団体のホームページでバナー（リンク）を貼ってご紹介するだけ。みなさまの企業・団体のホームページを訪れる多くのファンの方々を通じて「心肺蘇生」や「AED」の方法を学んでいただき、「いざという時に活躍いただける市民を増やしていこう!」という簡単なシステムです。

バナー

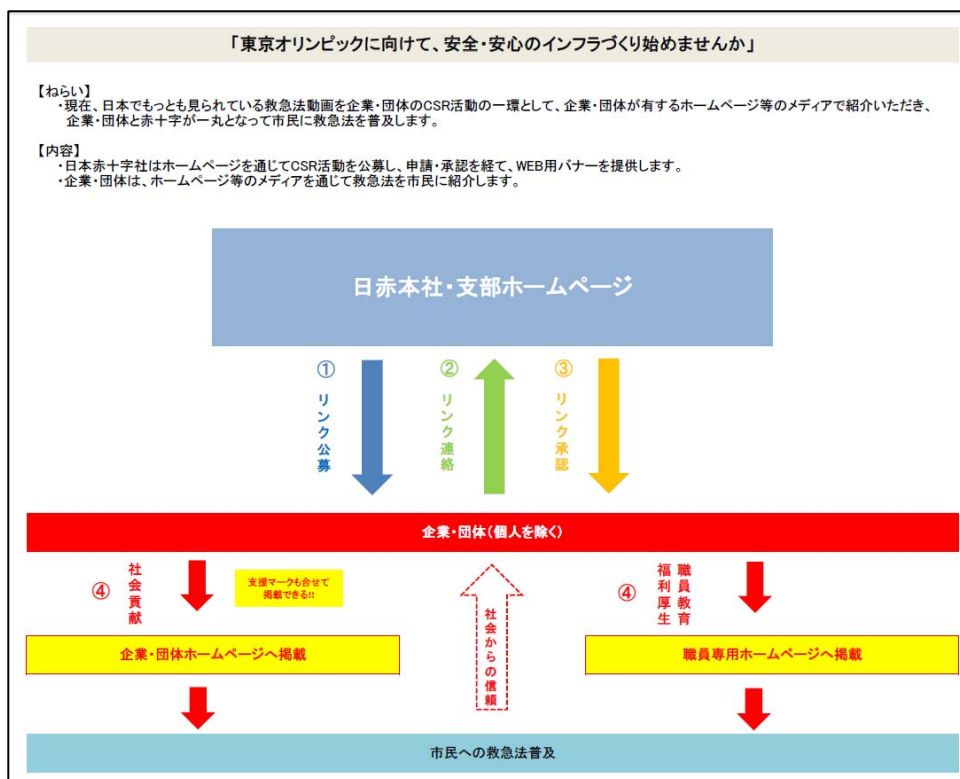


現在、日本国内には40万台を超えるAEDが設置されているといわれています。おそらくみなさまの企業・団体にもAEDが設置されていると思いますが、どのように使用するかわからない方も多いはず。

企業と市民をつなぐパートナーシップ



みなさまの企業・団体の関係者にもこの動画を見ていただくことで、いざという時に役立てられる仕上がりとなっていますので、ぜひぜひご活用ください。特に集客施設やスポーツ団体、イベント団体にお勧めです。



また、この CSR 活動に賛同し「救命手当の動画」を広く普及する活動を行う企業・団体は、赤十字活動を支援していることを表す「赤十字支援マーク」を活用することができます。(ただし、企業・団体のホームページ上又は広報資材に限ります。)

赤十字支援マーク(ロゴ)



提供物 バナー、リンク (YouTube)

https://www.youtube.com/watch?v=qYea586_U9s

※動画データそのものの提供はできませんのでご承知おきください。

※個人のお申し込みは受け付けておりません。

※お申し込み、お問い合わせ、その他日本赤十字社との共同事業に関するご要望・ご相談等がございましたら、日本赤十字社各都道府県支部 (0570-009595) まで。

※協力企業・団体様には、別途赤十字のご案内をさせていただく場合がございます。